

ジャパンリンクセンターへの期待 —利用者の立場から—

2012年11月20日
第14回図書館総合展フォーラム
「ジャパンリンクセンター利用説明会」

医学中央雑誌刊行会 松田真美

● 医中誌Web とは？

- 日本の医学とその関連分野の論文検索サービス
- 冊子体医学中央雑誌の創刊は1903年。
1991年「医中誌CD」、2000年「医中誌Web」提供開始。現在はWeb版のみを提供している。
- 医中誌Webには、1983年以降、のべ5,779誌から収録された 8,117,064 件の文献情報が収録されている。

● 医中誌Web の利用者

■ 利用者の属性

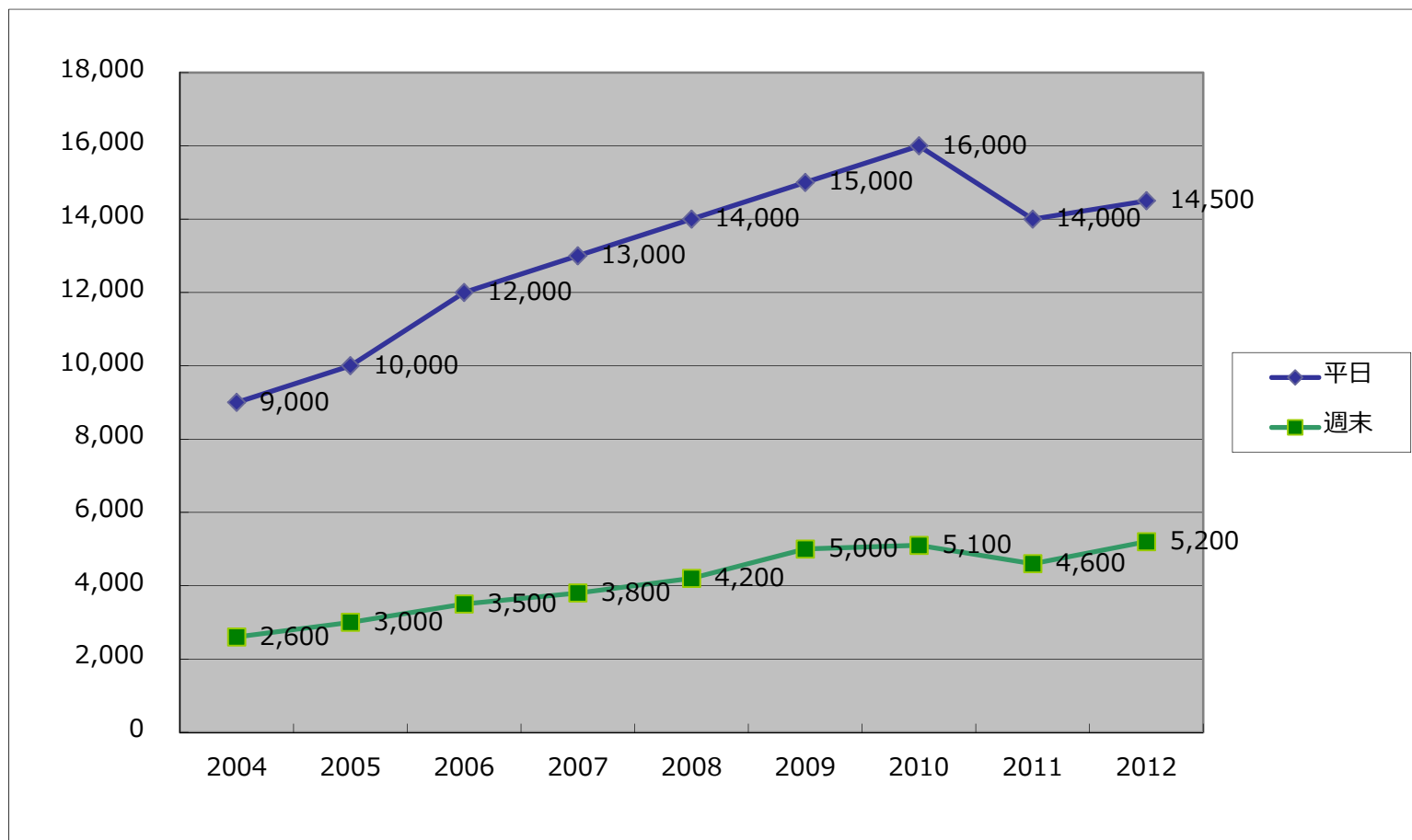
- 医師、看護師、その他の医療従事者
- 学生
- 大学・病院等の図書館員
- 製薬企業のサーチャー
- 患者さんやその家族など、一般の人

■ 利用機関の種別

- 大学、専門学校の図書館
- 病院図書室
- 製薬を中心とする企業
- 公共図書館、患者図書室
- その他(研究機関、公共機関、出版社、学協会など)

● 医中誌Webの利用状況

■ 1日あたりのログイン人数の増減（※2010年以前と2011年以降ではカウント方法が異なる）



● 医中誌 Webの役割とは？

① 医学論文を的確に見つけるためのツール

⇒ CD-ROMになったとき、検索性が大きく向上

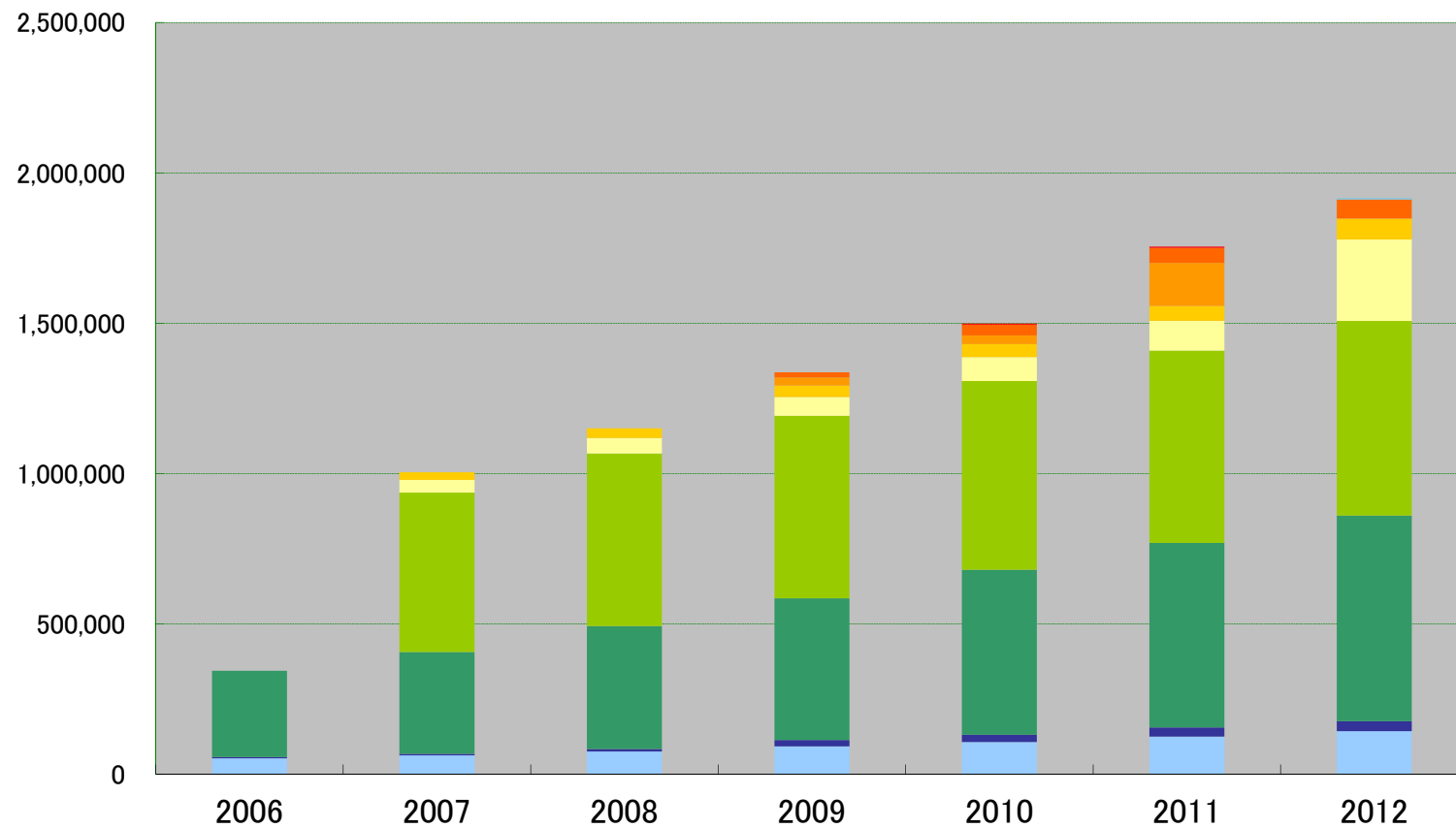
② 医学論文の入手をサポートするツール

⇒ Webになったとき、WWWの「リンク」により、
原本入手のあり方が激変。

2005年より、電子ジャーナルへのリンクを開始

● フルテキストへのリンク数

2006年以降の医中誌Webにおけるフルテキストリンク数



● 現在のフルテキストリンク数

サービス名称	リンク件数	無料
CiNii-ELS	646,998	458,723
Medical Online	683,815	—
Pier Online	33,105	—
Medical Finder	69,741	—
J-STAGE	271,258	244,889
CrossRef	143,579	—
Medical e-hon	62,766	—
Annual Review Online	1,081	—
関東連合産科婦人科学会誌	4,214	4,214
日本看護学会論文集	710	—
	1,624,555	707,826

※合計は、重複除く

● 医中誌Webバージョンアップ

先週 (11月16日)のバージョンアップにより、「フルテキスト有の文献」「無料のフルテキスト有の文献」への絞り込みが行えるようになった。

The screenshot shows the JMA Web search interface. At the top, there is a navigation bar with the logo '医中誌Web Japan Medical Abstracts Society' and links for '医中誌WebDDS', 'HELP', 'My医中誌 (matuda)', 'アンケート', 'お問い合わせ', and '終了'. Below this is a search bar with a '検索' button and a 'クリア' button. The '絞り込み条件' (Filtering Conditions) section is highlighted with a red box. It contains a grid of checkboxes for various search filters. The '本文あり' (Full text available) and '本文あり(無料)' (Full text available (free)) checkboxes are highlighted with a red box. Other filters include '抄録あり' (Abstract available), '最新の5年分に限定' (Limit to latest 5 years), '原著論文' (Original papers), '解説・総説' (Reviews and editorials), '会議録除く' (Exclude conference proceedings), '症例報告' (Case reports), '看護文献' (Nursing literature), '治療に関する文献' (Literature related to treatment), '診断に関する文献' (Literature related to diagnosis), and '副作用に関する文献' (Literature related to side effects).

医中誌Web
Japan Medical Abstracts Society

医中誌WebDDS HELP My医中誌 (matuda) アンケート お問い合わせ 終了

検索 書誌確認画面 シソーラス参照 クリップボード

すべて検索(キーワードなど) 著者名 その他 収載誌名

検索 クリア

絞り込み条件 すべての絞り込み条件を表示 HELP

<input type="checkbox"/> 本文あり	<input type="checkbox"/> 本文あり(無料)	<input type="checkbox"/> 抄録あり	<input type="checkbox"/> 最新の5年分に限定
<input type="checkbox"/> 原著論文	<input type="checkbox"/> 解説・総説	<input type="checkbox"/> 会議録除く	<input type="checkbox"/> 症例報告
<input type="checkbox"/> 看護文献	<input type="checkbox"/> 治療に関する文献	<input type="checkbox"/> 診断に関する文献	<input type="checkbox"/> 副作用に関する文献

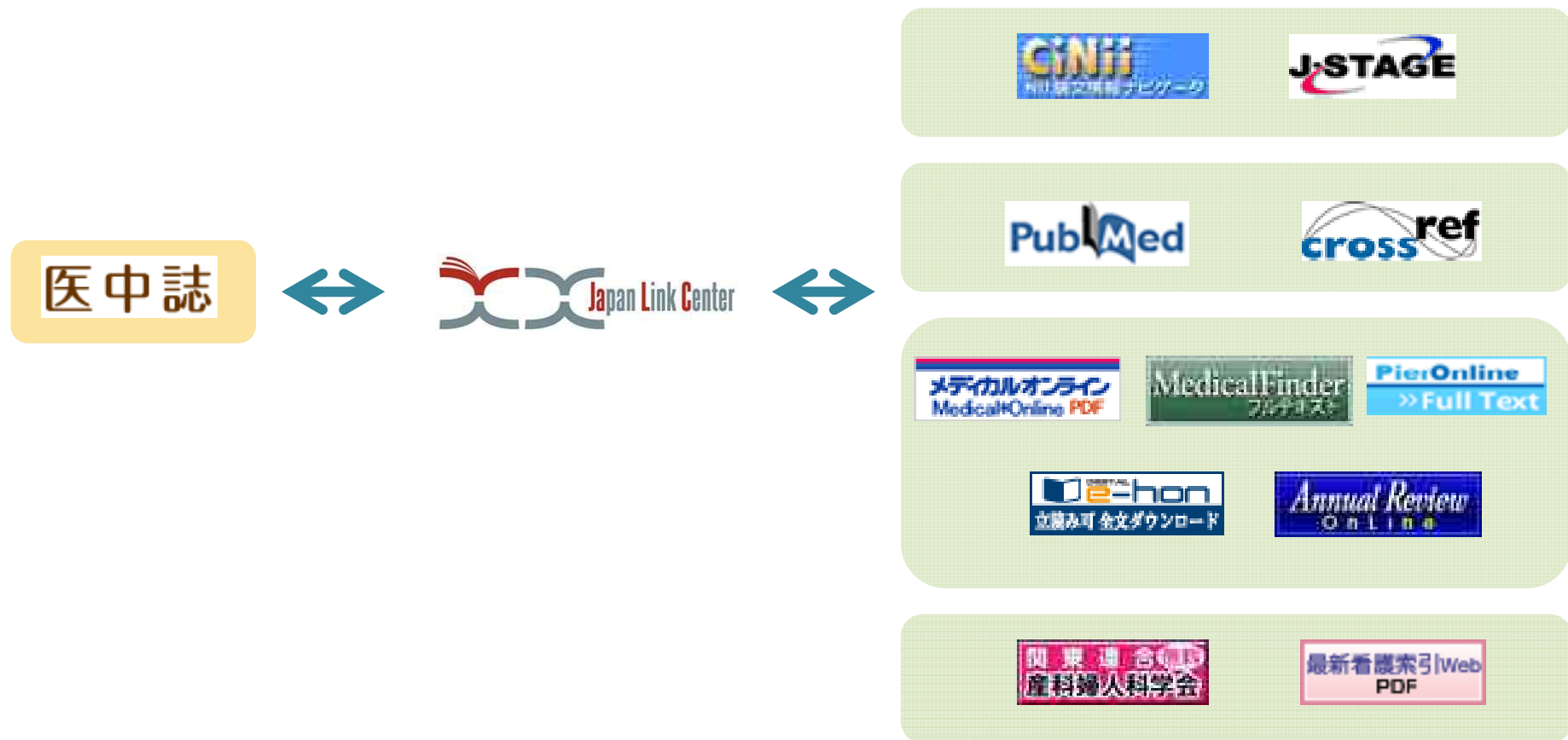
● フルテキストリンク情報の取得（現状）

フルテキストリンクがますます重要となるが、現状ではリンク情報の取得をサービスごとに個別に行っている。



● フルテキストリンク情報の取得（期待）

JaLCでリンク情報が集中管理されることにより、リンク情報の取得がより簡単・確実に行えることを期待。



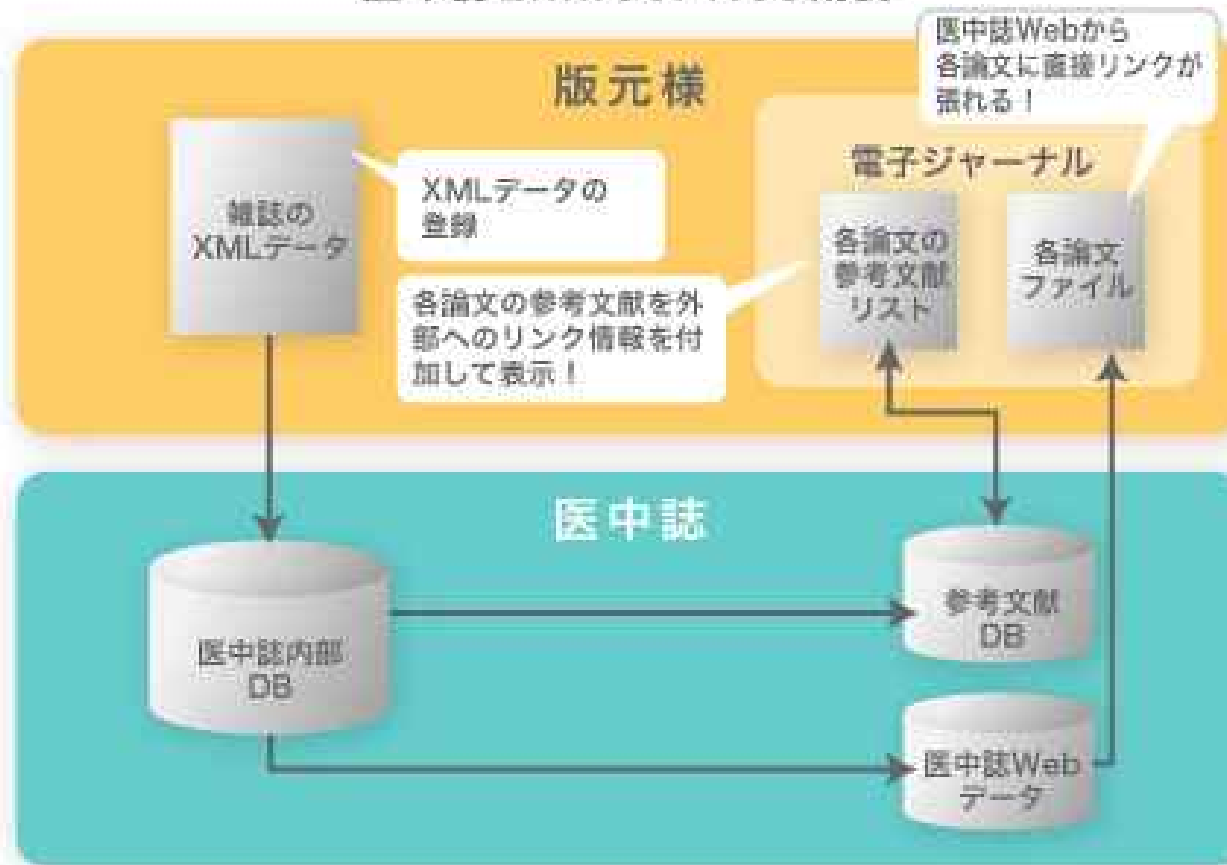
● リンク先の拡充への期待

- 学協会のホームページなどで、特に学会の抄録集の電子版などを公開する事例が増えている。
- それらの言わば「散在」しているオープンアクセスのコンテンツは、現状ではリンク情報の取得自体が難しい。これらへのリンクが可能となることも期待。
- 機関リポジトリへのリンクも。

● 「医中誌LinkService」

日本の医書の版元に対し、「医中誌LinkService」を提供している。

医中誌LinkService概要



※参考文献リンクでは、医中誌Web、PubMed、Crossref、J-STAGE等へのリンクを実装しています。

● 医中誌の役割

医中誌LinkServiceとの連携などにより、JaLCと医書版元をつなぐ役割をはたすことも考えたい。



● リンク先の重複について

■ JaLC課題となるかと思われる点として、医学分野においては、「複数のプラットフォームでの電子化」が相当進展している状況がある。つまり、リンク先URLが複数存在する。

医中誌Webからのリンク数：積み上げ	1,919,279
医中誌Webからのリンク数：重複除く	1,624,555
差分	294,724

4 LC27190006<Pre 医中誌>

2型糖尿病の韓国人患者における無症状甲状腺機能低下症と重症糖尿病性網膜症との関連
(Association between subclinical hypothyroidism and severe diabetic retinopathy in Korean patients with type 2 diabetes)(英語)(原著論文)

Author : [Kim Bo-Yeon](#)(Division of Endocrinology & Metabolism, Department of Internal Medicine, Bucheon Hospital, Soonchunhyang University College of Medicine), [Kim Chul-Hee](#), [Jung Chan-Hee](#), [Mok Ji-Oh](#), [Suh Kyo-Il](#), [Kang Sung-Koo](#)

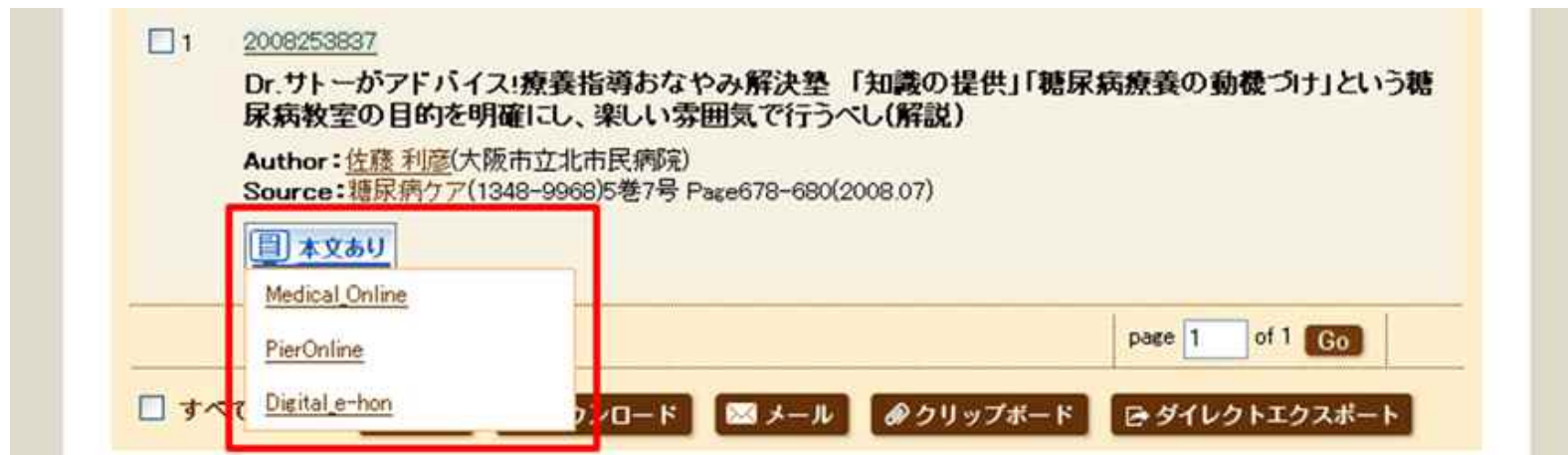
Source : [Endocrine Journal](#)(0918-8959)58巻12号 Page1065-1070(2011.12)

抄録を見る



● リンク先の重複について：医中誌の解決策

- 今回の医中誌Webバージョンアップにおいて、「フルテキストへのリンクアイコンを1つだけ表示する」機能を追加。
- リンク先が複数ある場合は、ポップアップウィンドウが開き、選択肢を提示。



● まとめ

- JaLCへの期待 ① リンク先のより容易かつ確実な取得
- JaLCへの期待 ② 現在ではリンクが難しいコンテンツへのリンク取得
- 「医中誌LinkService」との連携を考えたい。
- 医学文献については、プラットフォームの重複が課題かと思われる。

ご清聴有難うございました。